



発行所
群馬県館林市尾曳町6-1
群馬県立館林女子高等学校
同窓会
印刷所
東京広告株式会社



ごあいさつ

—希望をもつて—

同窓会長 仁田 征子

同窓会会員の皆様におかれましては、お元気で過ごされたこととお喜び申し上げます。

ました。

令和になり平和な時代になるようにと願っていましたが、地球環境は少しずつ悪化し、人類は大変な時に直面しているのではないかと思えます。

そして、三月に入り桜の開花宣言が出たと思いましたが、あつという間に満開になりました。市の行事もコロナウイルス感染症対策で、縮小・中止に追いやられ、本来なら嬉しい花の便りもどことなく寂しさを感じさせるものとなりました。

となりました。

年が明けてから、中国の武漢で発生したコロナウイルスが、あつという間に世界中に拡がりパンデミックを起しています。母校も三月の卒業証書授与式が卒業生と保護者一名の参加で在校生不在の中で挙行されました。生徒のいない学校は、しゅんとして正常な日常とはかけ離れていま

そのような中で、三月三十日に本部役員会を開催しました。その場で、六月六日の土曜日に予定されておりました同窓会総会を中止することに決定しました。会員の皆様の命が何より大切と考えました。創立百三周年を迎える母校ですが、創立十一年目の昭和三年に、当時の加畑校長の発



案で同窓会が発足して以来、戦時中を除いて同窓会の総会が開催されなかった事はありませんでした。今回、得体のたぬ総会を諦めなければならぬのは、とても残念に思います。同窓会会員の方、お一人お一人が、お互いを思いやって自分の行動に責任を持ち、この人類の危機を切り抜けて行けたらと思います。

ところで、創立百周年の年に同窓会館の入り口と表札を新しく作り替え、内部も畳とカーテンを新しくしましたことと昨年の総会の場でご報告させて頂きました。今回は、年の始めに板壁を塗り直しました。木造の古い建物ですので、少しずつ手を入れながら大切に使い続けられればと思っています。母校に残っている建物では、一番古いものです。多くの同窓生の思い出



希望にもえつほほえみつ

校長 長谷川 充

に残っていることと思えます。同窓会館の前には、館林城のお堀の一部が遺されています。そこに植えられていた松の太木をこの三月に伐採しました。残念な事ではありましたが、安全面を考えてのことです。お陰様で生徒は安心して活動ができます。残された竹林は風通しも良く明るくなり、西暦二千年を記念して植えられた桜も陽射しを受け、この春見事に咲きました。時の流れとともに少しずつ形を変えていきますが、そこに集う生徒達は、今も昔も笑顔の似合う女学生です。これからも同窓会として母校の発展に協力しながら、同窓生の皆様とご一緒に見守ってきたいと思えます。

この会報が皆様のお手元に届くころには、少しでもコロナウイルスが落ち着いてくれることを、そして来年は、総会の場で皆様と笑顔でお目にかかれることを願っています。

最後になりますが、同窓会員の皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

日頃当たり前と思っていることは決して当たり前ではない、感謝しなければならぬことであると強く感じています。昨年十月には台風十九号で邑楽館林地域には広く避難指示が出されました。本校関係者も浸水の被害に遭いました。普段の何気ない生活が脅かされた瞬間でした。そして、今回のコロナウイルス感染症による臨時休業。今までも大雪による短期の臨時休業やインフルエンザによる学級閉鎖、学年閉鎖がありました。しかし、これほど長期間にわたり、全国一斉に臨時休業をするところがあるとは想像もしていませんでした。勉強をしたくてできないのは昔の話か遠い

国の話で、まさかこの現代の日本で、普通に学校に通って授業を受けたり行事に取り組んだり友達と話をしたりすることを制限される日が来るとは思っても見ませんでした。

生徒たちは、日々の授業を受けることも普通に登校することもできません。部活動をすることも部活動の大会や発表会も延期や中止に追い込まれました。楽しみにしていたN.Z語学研修も中止になりました。今年度は3年に一度の友誼祭が行われる予定で、ちょうどこの友誼祭に合わせて同窓会総会を開催し、同窓生の皆様には総会と同時に友誼祭を楽しんでいただく予定でありました。この友誼祭、同窓会総会も六月に開催されることは叶わず、総会で日頃お世話になっている同窓生とお会いする機会を奪われしました。今更ながら今までの普通の生活に感謝すると同時に、普通にできるときに機会を逃さず行動することの重要性に気づかされました。

この状態がどう終息するのか、先が見えない中で、学校としての対応や個人としてどう過ごしたら良いのか思いを巡らせています。感染が拡大しないように注意しながら治療薬、予防薬の開発を待つ。その時間に一人一人が何ができるかを考え提案し実行していく。この状態だからこそ、今のこの状態だからこそできることを楽しみながらやる。困ったことをなんとか解決するために知恵を絞り、誰かとアイデアを共有し新しいものを生み出していく。これまでも先人たちは幾多の困難に出会い、そのたびに人類の知恵を結集してその苦難を乗り越えてきて今がある。この状況を乗り越えた後には、世界中の知恵が集められ素晴らしい世界がやってくることを信じて、今日の前にある課題を、自分にできることを考えて、一步一步解決に近づけることを楽しむのが良い。そんなことを考えています。

そして改めて本校の校訓である「自律自治、温雅健康、敬愛親和」は本校生徒に向けての教訓にとどまらず、人が人として幸せな人生を送るための根本となる教えであると感じている次第です。自らの

言動を、自らの生活を人からいわれるまでもなく自分自身でコントロールし、心身ともに健康的な生活を送る。自分の周りの人たちに尊敬と愛情と親しみを持って感謝の気持ちで生きる。また高野辰之先生作詞の校歌の歌詞にも我々を導いてくれる言葉が書かれています。「光と雨を身にありみて」どんな困難にも負けず力強く伸び続ける「春の草」のように、「希望にもえつほほえみつ」。明るい将来を夢見て、現状にあまりに悲観的になりすぎずにポジティブシンキングで笑顔で今この瞬間を楽しみながら「つねに未来に生くる」。こんな時だからこそ特に大切な教えであると考えます。

末筆ではありますが、同窓生の皆様には常日頃から陰に陽に学校の教育活動の充実にご理解ご協力をいただいていることに深く感謝申し上げます。いろいろと大変な状況が続きますが、さらにご自愛いただき、今後とも館林女子高等学校のますますの発展のためにご支援を賜りますようお願い申し上げます。



ごあいさつ

教頭 萩野 葉子

令和元年度末の人事異動により、教頭として着任いたしました。校内の美しく咲き誇った満開の桜が印象的でした。

この度、歴史と伝統ある館林女子高等学校でお世話になることになり、校門をくぐる時は、何とも言えない緊張感に包まれました。

私は今、出会いの大切さを改めて感じています。そして、これまでに多くの人に支えていただいたことを思い出します。時にはその後ろ姿から沢山のことを学びました。

言葉で伝えることの意味、また、無言の中の数知れない教え。高校時代は、かけがえない時間であったと感じています。一人ひとりが自分らしさを大切に、館女生として学ぶ日々が実り多いものとなることを願っています。

真新しい制服を着て入学式を迎えた新入生の姿は、私の緊張した姿と重なりました。

まだまだ経験の浅い私ですが、同窓会皆様のご指導をいただき、精一杯努めてまいります。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。



今年の桜

前教頭 高橋 みゆき

二年前の四月。桜が満開の中で、私は館女に赴任しました。

桜ほど我が国で愛されている花はありません。毎年、日

本中で開花を待たれ、三月の声を聞けば、「桜前線」「開花予想」という言葉を毎日耳にすることになります。今年の桜も、全国でその開花を待

令和元年 同窓会総会開催

青木 美智子 (昭49年度卒)

年号が平成から令和に変わり、一二六代天皇の誕生です。そのような世の中の変化がみられる年、令和元年。館女同窓会総会が六月一日、約八十名の参加で館女会館で行われました。ちよっと蒸し暑い一日でした。

時間通りに開催され、会長、校長先生の挨拶を頂き、行事そして会計報告が行われ、ご参加くださいました皆様のご協力のおかげで、ス



ムーズに進行できました。総会終了後に、箏曲部の生徒たち、そして同窓生の皆様により、素晴らしく妖艶な演奏を聴き、参加者全員、琴の音の美しさに酔いしれました。その後、懇親会が隣の部屋に移動してスタートしました。

五、六名でテーブルを囲み、お弁当とお菓子とお茶を前に、年の差関係なく、女子高生に戻って、楽しく和やかに会話も弾んでいました。

「今、何してるの?」「今、どこに住んでいるの?」「ご家族は?」高校時代のエピソードなど、色々な話が聞こえてきました。アツという間に時間が過ぎ、時の短さに物足りない様子。そこで、昔から愛されていた「校歌」を全員で歌って閉会となりました。

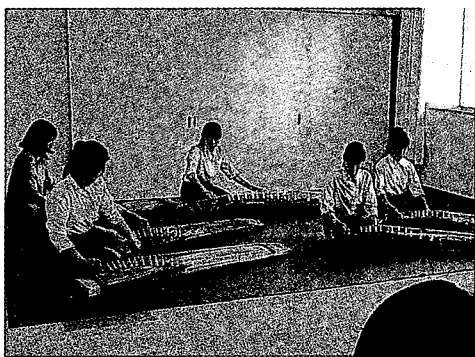
母校で総会が開かれるのは、今年で二度目です。(同窓会が発足してしばらくは、母校で開催されていません)一昨年までは、文化会



館で行われていました。何か、機会がないと、母校といつても足が遠退いてしまいます。このような総会が、母校で開催されるのは大切なことだと思います。

普段では見られない館女会館、そして、同窓会館、いろいろ拝見できて良かったと思います。次回は、中庭や絵画などの作品も見られたらいいなと思います。

来年もより多くの同窓生に参加して頂き、ますます母校と同窓会を発展させていきたいと思えます。皆様のご参加をお待ちしています。



たれていました。多くの場所で例年より早く、絶好のお花見日和を迎えていました。しかし、予想もしなかった感染症の拡大により、お花見の自粛ムードが広がり、人々は、「桜は来年も咲く」と慰め合いました。誰も見てくれなくても、今年の桜は見事に精一杯咲いていました。

予想もしなかった感染症の拡大は、お花見だけでなく、世の中の人々の楽しみを次々と奪っていきました。オリンピックまでが延期となり、学校でも、卒業式、終業式、入学式、部活動の大会、様々な重要な行事が、縮小、中止、延期等の判断を余儀なく

されることとなりました。予想できず、前例がないことが次々と起こる中で、我々には対抗するすべもなく、どうにもならないことが起きることを唯々受け止めるしかありませんでした。

予測できない困難に向き合ったとき、我々教師は生徒にどんな言葉をかけたらいいたのでしょうか。「卒業式は来年もある」「大会は来年もある」とは言えません。今年咲いた桜と来年咲く桜が違うことは誰でも知っています。生徒に困難を乗り越える力を身に付けさせる前に、我々教師にその力が身に付いているのか嫌というほど考えさせられました。

そんな中、今年の桜が満開の時に、私は館女を離れることになりました。館女での二年間は、まるで桜の花が満開の時期のように一瞬だったように感じます。とても充実した時間でした。同窓会の皆様には大変お世話になり、感謝の念に堪えません。今後とも引き続きご指導いただければ幸いです。ありがとうございました。



創立百二周年

開校記念式典 記念講演会



講師：瀬谷ルミ子氏

講師プロフィール

認定NPO法人日本紛争予防センター(JCCP)理事長、JCCP M株式会社取締役。国連NPO職員、外交官、NGO職員として勤務。紛争地の平和構築、治安改善、武装解除・社会復帰に尽力。現在はJCCPにて紛争・テロ予防や被害者の保護事業に携わる。「世界が尊敬する日本人25人」(2011年)、「日経ウーマン・オブ・ザ・イヤー2012」。英政府「International Leaders Programme」に選出。著書「職業は武装解除」。

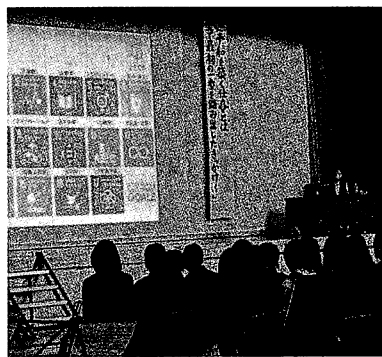
創立百二周年記念式典及び

講演会を聴いて

橋本夏生(昭46年度卒)

創立百二周年の開校記念式典及び記念講演会に出席するため、久しぶりに母校を同級生四人と訪れました。校長先生の式辞、同窓会長・PTA会長の来賓祝辞。久しぶりに聴いた後輩たちの歌う校歌。厳粛なうちに式典は挙行されました。

続いて、日本紛争予防センター理事長 瀬谷ルミ子さんによる『紛争地の平和を築く仕事とは』高校生が最初の一步を踏み出したきっかけ』と題して貴重な体験を聴くことができました。



ました。「世界中では五百五十カ所もの紛争が起きています。」との答えに、私も、もう少し多いと思いましたが、五百五十という数字にショックを受けました。以前は、南アフリカ、中東、アジアでの紛争が多かったようですが、アメリカなどの先進国の介入で少しずつ減ってきました。しかし、その代わりに世界中でテロが増えてきたそうです。日本でも来年のオリンピックにテロを警戒しています。

瀬谷さんは、紛争地に入行って、紛争を止める活動をされています。女性だからできること、日本人だからできること。日本が世界の中でも中立的な立場にいることが、とても大きな役割を果たしています。高校生の時に出会った一枚

の写真がきっかけで、この世界に飛び込んだそうです。何の取り柄もない、何もない普通の女の子に何ができるのか。コンプレックスを持っていた自分が、どうすれば認めてもらえるのかと、考えに考えた結果、外の世界に飛び出し紛争地の中に入っていくことを選んだそうです。数多くの試練を乗り越え、今に至った経緯は驚くべきものでした。難民となってる人々に寄り添いながら、彼らが自立して生きていけるように考えて支援を行っています。紛争も武器で解決するのではなく、話し合いによって解決しています。人と意見が違うのは当たり前、相手を認めることから全うが始まります。そんな信念を持って世界中を駆け回って活動が続いている瀬谷さん。最後

に、生徒たちに向けて「可能性は無限にあると言われるけれど、自分で選ぶ権利、選択肢には使用期限があります。だから、その時を逃さないでください。」と、話してくださいました。講演を聴きながら、何十年と変わらない館女の制服に懐かしさと親しみを感じ、その沢山の後ろ姿に昔の自分を重ねました。将来のことなど何も考えていなかった自分。やり直しのきかない今、若者たち、特に女性にしかできないこと、女性だからできることに大いに挑戦していつか欲しいと思いた。私も六十六歳から自分ができること、特に女性として輝けることに少しでも挑戦していきたいらと思います。自分にしかできない生き方を求め続けようと思つた時間でした。

観劇会のお知らせ

宝塚十一月公演・演目「未定」

令和二年十一月の土・日のいずれかを予定しておりますが、今年はコロナウィルス感染症対策のため、実施できるかどうか、現段階では判断できない状態にあります。同窓会本部と致しましては、七月初めに状況をみて結論を出すこととなりました。実施できる場合、七月二十五日に案内状を発送します。七月末日になっても、お手元に届かない場合、観劇会は中止になったものとお考えください。このような混乱の状態にありますこと、ご理解ください。

問い合わせ先 館林女子高校同窓会事務局(島田・泉)

TEL 027617210139
FAX 02761721112

開校記念講演会 瀬谷ルミ子氏 「紛争地に平和を築く仕事とは」を 聴いて

神戸 久美子 (昭50年度卒)

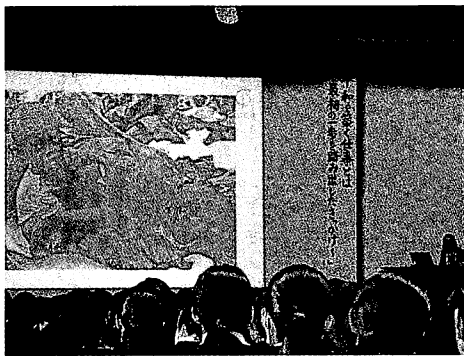
創立百周年までは、卒業生による講演が多かったようですが、百二周年の今年は、日本紛争予防センター理事長でいらつしやる瀬谷さんの講演を十一月六日に聴かせて頂きました。

瀬谷さんは、桐生市の生まれで、前橋女子高校の卒業生です。在学中に、ある一枚の写真から紛争地に平和をという考えを胸に、進路を決定されたそうです。高校時代に抱いた考えの実現をはかることはとても大変だったと思います。強い気持ちを持っていないければやり遂げられないことだと感じました。

紛争地に行くとなると、男性が行くのではないかと思っ
ていました。紛争の当事者はほとんどが男性で、武器と武力の解決となってしまう
す。女性が行くことでコミュニ
ケーションによる対話ができ
るそうです。対話による紛
争解決がなされれば、紛争が

減っていく、だから、女性が
必要になるそうです。紛争は
戦争。戦争を起こさせる原因
が男性社会だからなのかわか
りませんが、女性の役割は、
これから益々増えていくと思
います。

瀬谷さんのような方を見習
い、自分の意思をしっかり持
ち、社会の中で進んでいける
女性が増えていって欲しいと
思います。在校生の方にも、
志を強く持ち厳しい社会を心
折れず進んで欲しいと思いま
した。



令和元年のクラス会

福田 奈々子 (昭50年度卒)

「無事に還暦を迎え、生活
が軌道に乗ったらまた会いま
しょう。」の言葉通り、私た
ち昭和五十年卒業三年七
組・八組合同クラス会が、令
和元年十月十九日に行われま
した。

七組担任の和田春雄先生は
八十七歳。八組担任の水野吉
次先生は七十六歳。両先生と
もお元気で、会に華を添えて
くださいました。

昨年五月、元号が「令和」
になり、日本中が明るく華や
かな空気に包まれました。十
月には、旭化成の吉野さんが
ノーベル化学賞を受賞した
り、ラグビー日本代表がベ
スト8に入ったり、嬉しい
ニュースが続きました。しか
し、台風十五号・十九号が立
て続けに東日本を襲い、甚大
な被害をもたらした時期とも
重なり、被災された方たちの
ことを思うと心の痛むクラス
会でもありました。

さて、還暦を迎えた私たち
のライフステージは、仕事や
趣味を通して社会と関わりな

がらも家庭においては、孫の
世話や親の介護を担い、自身
の健康も気になる年齢でもあ
ります。このステージを次の
ステージへと着実に繋げて行
くキーワードは何でしょう。
それをお二人の先生のお話の
中から見つけました。

和田先生は、サムエル・ウ
ルマンの『青春の詩』から、
青春とは人生のある期間を言
うのではなく、心の持ち方を
言い、希望や興味などを持つ
ことで人は若くいられると言
うことをご自身の生き方を交
えお話ししてくださいまし
た。難しい数学の先生からの
お言葉とは思えない、その
ギャップにビックリしまし
た。(笑)

水野先生も、ご自身の取り
組みを挙げつつ「健康保持に
は痩せすぎより、ぽっちゃり
している方がいいのです。皆
さんのようにね。」と話され、
一同大爆笑でした。

楽しく会話が弾む中、私は
一瞬タイムスリップし、女子
高で授業を受けていました。

福田「はいっ！(挙手)」
和田「何だ、また質問か？」
福田「いえ、キーワードは、
希望・興味・健康の3
Kですわね！」

和田「よく見つけたな。」

自らの生き方を通し、大切
なことを私たちに気付かせて
下さったお二人の先生は、今
も尚、私たちの確かな道しる
べなのでした。

末筆になりましたが、御年
百三歳、歴史と伝統のある館
林女子高校の益々の発展を心
よりお祈り申し上げます。



「オグリ」

人は幸せになる為に生きる

川島 千恵子(昭50年度卒)

待ちに待った朝、私たち三人はりょうもう12号に乗り浅草へ。歌舞伎も楽しみであるが、もう一つの楽しみはお弁当。事前に下調べして松屋の「なだ万」へ直行。早々に購入して新橋演舞場にたどり着く。会場の周りには和装姿のご婦人が…歌舞伎ファンはさすがに違う。

オグリ「小栗判官」の生と死の運命が三部構成で始まる。オグリと照手姫が互いに一途に想い困難を生き抜く姿を描いたラブストーリーである。

現代ならではのモニター画面、鏡張りで舞台の奥行きを出し、ハイテクな照明とダイナミックで斬新な舞台セット。照手が川に流される川のみま。血の池地獄の本物の水を使って客席を巻き込みながら立ち回った場面。舞台上手では二本の拍子木「ツケ」を売っての歌舞伎ならではの音楽効果、全てが舞台を盛り上げる最高の演出。二幕冒頭では、おばあさん達が歩きスマホ、ツイッターやライン、現代の風潮も取り入れ、

スーパー歌舞伎Ⅱ

新版オグリを鑑賞して

蓮見直子(平7年度卒)

笑いを誘う。市川猿之助と中村隼人の馬に乗ってのダブルワイヤー宙吊りに会場の割れんばかりの拍手と歓声が上がります。私も乙女に戻って必死に手を振り、興奮してしまっただけ。

最高だったのが、閻魔大王を演じた浅野和之である。自ら地獄を焼き払う気まぐれなところと情に厚い人の良いところ、怖いイメージを一転ユニークな閻魔様ではあるが、本当に強い者は苦しみ悩みながらも生きる者だと、オグリに言った言葉に感動した。そして、フィナーレ。二人が再び結ばれる歓喜の舞。幕の合間に何度も宣伝されたリストバンド(ごめんなさい。私は買いませんでした。)の登場で再び会場は盛り上がりを迎え、めでたし、めでたし…と幕が下りる。

私は思う。この世を去ったとしても閻魔大王が地獄を焼き払ったお陰で、あの世は天国しかない。だから、誰一人この世に帰って来た人はいないのだ。

衣装には着物をベースにストリートファッションを取り入れられ、現代的で豪華絢爛。美容師をしている母に見せてあげられなかったのが本当に悔やまれます。(まだ生きてます。)

お話は古典でありながら、現代にも通じるテーマを説いていました。「人は幸せになるために生きています」この言葉の本当の意味に気づくために、オグリは様々な出来事に直面します。理想を追い求めるあまり苦しみの底へと落ちていく若者達、そして地獄を知り、姿を変えられ力を失うオグリ。「できないこと」の苦しみを知ること、「できないこと」があると認めることは、そう簡単な事ではない。人は理想ばかりでは生きていけないと、私の子供達もいずれ気づく時がくるのかしら。大人になったら誰しも自分の限界に気が付き、「できないこと」にも上手く向き合っていかなければなりません。

私がまだうら若き女子高生だった頃、つまり、せつせと毎日館林女子高に向かって自転車こいでいたあの頃、芸術鑑賞というものに対して、ただ敷居が高いイメージを抱いており、勉強し豊富な知識が必要と思っていました。それなのに、卒業し二十年以上経った今では、美術館に行くことが大好きになりました。といつても芸術に対して深い知識があるわけではありません。絵画や彫刻を面白いと思ったり、すごい！と心動かされること、解らないながらも何かかビビッとくる作品に出会えた時の感覚は、まるで夫と初めて出会った時のよう、などと云つたら言い過ぎですが。「楽しむ」ということに必ずしも知識は必要でなく作品に対する自分なりの価値観を見いだすことができればそれで良いのだと、この歳になって気づけるようになりました。

さて今回、同窓会の観劇会、新橋演舞場にて、令和初のスーパー歌舞伎Ⅱ「新版オグリ」を鑑賞させていただきました。古典芸能や歌舞伎の世界に深い知識があるわけではないのですが、これでもかこれでもかと観客を楽しませてくれる工夫が盛り沢山の充実した舞台で、役者が活き活きと飛び回り舞台と観客が一体となった感覚を味わえました。三幕の構成ながら、夢中になるとあつという間、今思い返してもなんて贅沢な時間だった事でしょう。そんな贅沢をしに出かける妻を毎回、快く送り出してくれる夫に感謝しておきましょう。(忘れないうちに)

舞台の背後に鏡が使用されているので、客席を背景に芝居をしている役者の後ろ姿がよく見えるのも面白い。特にオグリを暴れ馬を使って殺めようとするシーンでは、まるで本物の馬が暴れているような演出、役者の迫力にすっかり現実(夫)を忘れ、見惚れてしまいました。

「お話しは古典でありながら、現代にも通じるテーマを説いていました。」「人は幸せになるために生きています」この言葉の本当の意味に気づくために、オグリは様々な出来事に直面します。理想を追い求めるあまり苦しみの底へと落ちていく若者達、そして地獄を知り、姿を変えられ力を失うオグリ。「できないこと」の苦しみを知ること、「できないこと」があると認めることは、そう簡単な事ではない。人は理想ばかりでは生きていけないと、私の子供達もいずれ気づく時がくるのかしら。大人になったら誰しも自分の限界に気が付き、「できないこと」にも上手く向き合っていかなければなりません。

けれど照手姫はオグリ「心のままにまっすぐ生きよ」という言葉を信じ、困難を生き抜きました。只のか弱きお姫

様でしたが、人を信じること愛することは、周囲の人々の心をも動かし、本心に強い人とはどんな人か、という事実を突きつけてきます。「うん」子供達に一番知って欲しいこととです。

水を使ったアクション、馬に乗った左右同時の両宙乗り、ラストは一同で歓喜の舞を踊り、バラの花びらが舞い散ると、スーパー歌舞伎ならではの派手な演出が始終続くのですが、人が幸せに生きるとはどういうことか、自分らしく生きるとは何か：：様々に考えさせられる物語でした。

もしかししたら、これという答えはないのかもしれませんが。美術館に行つて絵を観るのと同じように、自分なりの価値観を見いだせればそれでいい。純粹に舞台を楽しみ、興奮しよ。

「恒例の三年七組クラス会」

小野里 千佳子 (昭48年度卒)

一九七三年、館女卒業生のクラス会を令和元年五月十九日(日)に館林厚生病院近くの『朱鷺』で行いました。卒業してから幹事は持ち回り

で、五年置きに会を実施してきました。参加者は三十八人中十五人でした。前回三年前の実施では八組と合同で「同窓会」として行いました。今回

て拍手し、物語の端々で大切な人たちの顔が浮かぶこと。それだけできつと素晴らしいことだから。夢のような時間、その機会を与えてくださった同窓会に感謝します。そして、芸術鑑賞教室や美術部で経験したことはもちろん、あの頃興味を抱いた全ての事が今の自分のベースになっていると思うと、高校時代つて尊い時間だと、実感せずにはられません。

雨の日も風の日も、黒い制服を着て自転車こいで高校に通った自分。教室で友人と笑い転げてたあの頃の私。そしてこれから、そんな時間を迎える準備をしている私の大切な子供たちも、それでよしよし。「心のままに、まっすぐ生きよ。」

回はそれぞれ退職している方が多く、先生も高齢になられたということもあり、三年後で実施しました。私達の担任だった野城正之先生も六月で八十九歳になられますが参加して頂き、学生時代の話に花が咲きました。当時は、変革の時代で館女生の進路や学力向上のことで職員同士議論をしたと熱く語って頂き、先生方が真剣に私達のことを考えてくれていたことが伝わってきました。

会の最初に全員で記念写真を撮り、約二時間半でしたが、お互いに顔を合わせ、尽きぬ話に夢中になってしまいました。話すことによって一瞬にしてタイムスリップしたかのように青春時代に戻ることができ楽しい時間でした。

それぞれの近況報告では、父母の介護のこと、孫のこと、自分の健康作りについてのことなどの話題がほとんどでした。まだまだ夢を抱いて頑張っている人もあり、そのパワーを戴くこともできました。欠席者の近況報告でも、一人ひとりの顔を思い浮かべてうなずいていました。

館林女子高校が百周年を迎えたという話題を知り、私達が過ごしたのはその一部分で、それがあつたから今の私達が、今回の充実した会ができたと思います。クラスの中には二人の仲間が逝去し、後何回できるかわかりませんが、各々の日々の生活から切り離し、青春時代にさかのぼってまた楽しいクラス会に参加出来たらと考えています。



編集後記

季節は確実に移り緑が美しく、校庭に吹く風も初夏の香りを運んでくる頃になりました。なのに、生徒達の明るい笑い声が聞こえてきません。日常が戻るのに、どのくらいの時間が必要なのでしょう。

早くコロナウイルスの混乱が終息し、皆様と元気にお会いできることを願っています。どうぞお身体をご自愛なさってください。(記島田)

退任・新任職員のご紹介

退任
 藤原 麻美 英語
 野田 彩海 国語
 豆生田 映司 公社

退任
 高橋みゆき 教頭
 大間 高志 高等学校校長
 赤井 恵美子 家庭
 県教育委員会事務局
 三橋 淳 数学
 大間 東高 学校
 石井 千裕 英語
 小倉 波月 理科(地公臨)
 桐生 女子 高等学校
 藤井 利紀 事務
 伊勢崎 特別支援学校 事務長

新任
 萩野 葉子 教頭
 大間 高志 高等学校
 谷津 誠 英語
 桐生 工業 高等学校
 奥野 博 数学(地公臨)
 太田 東高 学校
 石井 英梨絵 英語(地公臨)
 坂倉 高等学校
 申村 悠理 乃 国語(地公臨)
 前橋 清陵 高等学校
 岸 みどり 家庭(地公臨)
 館林 市立 第三 小学校
 田島 紗和子 理科(育休補)
 新採用
 小泉 三宏 事務(主幹)
 太田 東高 学校
 稲村 敏之 公任(地公臨)
 新採用

令和2年度 行事予定

令和2年

4月8日(水) 入学式

14日(火) 開校記念日

5月下旬 本部役員会

6月6日(土) 同窓会総会(審面による)

7月 中旬 本部役員会

10月 中～下旬 本部役員会

11月4日 創立103周年開校記念式典・講演会

初～中旬 観劇会(会場「未定」)

令和3年

1月 初旬 第4回 本部役員会

2月26日(金) 同窓会入会式

3月1日(月) 卒業証書授与式

*今年度の総会につきましては、コロナウイルス感染症対策のため、中止となりました。総会資料の発送をもちいで総会に代えさせていただきます。

*各部活動の定期演奏会・発表会・作品展等への後援につきましては、今年度も例年通り補助いたします。

*コロナウイルス感染症拡大防止のため、計画していた事業の中止・延期等の変更の可能性があります。ご了承ください。

令和2年度入試の合格校等一覧(過年度卒を含む)

【四年制大学】

【国公立大学】

学校名等	分類	合格者数
群馬	国大	2
宇都宮	国大	1
埼玉	国大	1
群馬県立県民健康科学	公大	3
群馬県立女子	公大	2
国公立大学計		9

【私立大学】

学校名等	分類	合格者数
育英	私大	2
関東学園	私大	1
共愛学園前橋国際	私大	3
桐生	私大	5
群馬医療福祉	私大	5
群馬パース	私大	6
上武	私大	2
高崎健康福祉	私大	4
東京福祉	私大	8
仙台	私大	1
つくば国際	私大	1
流通経済	私大	1
足利	私大	2
国際医療福祉	私大	3
獨協医療	私大	2
白鷲	私大	4
跡見学園女子	私大	3
浦和	私大	2
共栄	私大	2
埼玉医療	私大	1
埼玉工業	私大	1
城西	私大	1
尚美学園	私大	1
女子栄養	私大	2
駿河台	私大	1
聖学院	私大	1
東都	私大	4
獨協	私大	3
日本工業	私大	1
人間総合科学	私大	3
文教	私大	5
文京学院	私大	3
明海	私大	2
神田外語	私大	1
淑徳	私大	4
城西国際	私大	2
聖徳	私大	1
和洋女子	私大	1
亜細亜	私大	1
上野学園	私大	1
大妻女子	私大	4
共立女子	私大	4
子ども教育宝仙	私大	1
駒澤	私大	2
駒沢女子	私大	2

学校名等	分類	合格者数
実践女子	私大	3
昭和女子	私大	6
白百合女子	私大	1
成蹊	私大	3
専修	私大	1
創価	私大	1
大東文化	私大	3
拓殖	私大	1
帝京	私大	1
帝京科学	私大	1
東海	私大	1
東京家政	私大	3
東京工科	私大	1
東京女子	私大	1
東京未来	私大	1
東洋	私大	2
東洋学園	私大	1
日本	私大	2
日本女子	私大	1
日本女子体育	私大	2
日本赤十字看護	私大	1
日本体育	私大	1
文化学園	私大	1
明治学院	私大	1
目白	私大	7
立正	私大	6
鎌倉女子	私大	2
新潟医療福祉	私大	2
名城	私大	1
京都外国語	私大	1
建国大学校	私大	1
私立大学計		170
四年制大学計		179

【短期大学】

学校名等	分類	合格者数
育英短大	私短大	1
桐生大短大部	私短大	1
群馬医療福祉大短大部	私短大	1
新島短大	私短大	1
明和学園短大	私短大	1
足利短大	私短大	2
國學院大栃木短大	私短大	2
佐野日本大学短大	私短大	3
川口短大	私短大	1
埼玉純真短大	私短大	1
埼玉女子短大	私短大	2
池坊短大	私短大	1
上野学園大短大部	私短大	1
大妻女子大短大部	私短大	1
共立女子短大	私短大	1
国際短大	私短大	1
実践女子大短大部	私短大	1
短期大学計		22

【専修各種学校】

学校名等	分類	合格者数
太田高等看護学院	専門	2
館林高等看護学院	専門	9
東群馬看護専門学校	専門	1
太田医療技術専門学校	専門	5
太田情報商科専門学校	専門	1
太田動物専門学校	専門	1
群馬県美容専門学校	専門	1
群馬日建工科専門学校	専門	1
中央医療歯科専門学校	専門	2
足利医師会附属看護専門学校	専門	1
足利製菓専門学校	専門	1
足利デザイン・ビューティ専門学校	専門	6
佐野医師会附属看護専門学校	専門	1
大宮国際動物専門学校	専門	1
大宮こども専門学校	専門	1
大宮ビューティ&ブライダル専門学校	専門	4
呉竹医療専門学校	専門	1
埼玉県立高等看護学院	専門	1
さいたま柔整専門学校	専門	1
埼玉保育福祉専門学校	専門	1
ESPエンゲージメント東京	専門	1
大原情報ビジネス専門学校	専門	1
神田外語学院専門学校	専門	2
国際美容美容専門学校	専門	1
新宿医療専門学校	専門	1
東京ウェディング&ブライダル専門学校	専門	1
東京観光専門学校	専門	1
東京カールヘア&ミュージック&ダンス専門学校	専門	1
東京バイオテクノロジー専門学校	専門	1
東京ビューティアート専門学校	専門	1
東京福祉専門学校	専門	1
東放学園専門学校	専門	2
日本外国語専門学校	専門	3
日本写真芸術専門学校	専門	1
山野美容専門学校	専門	1
専修各種学校計		61

【就職】

企業名	分類	就職者数
館野歯科医院	就職	1
就職計		1

